

平成28年3月29日

桑折町議会

議長 片平秀雄 様

議会運営委員会

委員長 齋藤松夫

議会運営委員会所掌事務調査中間報告書

本委員会は、継続調査中の所掌事務調査事件について、会議規則第47条の規定により中間報告をいたします。

記

1 調査事件

議会基本条例に基づく議会改革の先進事例調査について

2 調査の目的

基本条例に基づく議会活動の具体化のため

3 調査の経過

□平成27年10月21日

閉会中所掌事務調査申出

□平成27年11月16日

早稲田大学マニフェスト研究所による「議会改革度調査2014（別紙資料参照）」を参考資料として、先進事例の調査に当たることを確認した。

※同調査は同研究所が2010年から始めたもので、2014調査は、全自治体の84%の1,503議会が回答した。調査内容は以下のとおり。

調査の目的：①議会改革の状況や傾向を把握する指標として活用する。

②議会自身が改革度を数値で把握し、自己評価を行い、改善に結びつける。

調査の観点：①情報公開（本会議ごとの議事録や交際費・視察結果の公開と検証）

②住民参加（傍聴のしやすさ、議会報告等の実施、住民意見の聴取）

③議会機能強化（議会本来の権限や能力を発揮するための取り組み）

□平成27年11月30日

「議会改革度調査2014ランキング」において総合順位1位の北海道芽室町の議会改革取り組み内容について協議した。

□平成27年12月15日

芽室町議会の「議会活性化計画（平成25年5月～26年4月）」について、桑折町議会と対比しながら検討した。早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査」の内容について協議を行い、桑折町議会の議会改革度到達点及び今後の課題について協議した。次回委員会で、「桑折町議会の議会改革度到達点及び課題抽出」をテーマに、さらに討議を深めることを確認した。そのため、各自レポートを提出することとした。平成27年度の委員会視察研修について協議した。

□平成28年1月12日

提出レポートをもとに協議し、次のことを確認した。

(1) 議会改革度ランキングにおける桑折町議会の順位について確認した。

○総合順位 第597位

- ・情報公開 第1,022位
- ・住民参加 第648位
- ・機能向上 第234位

(2) 上位ランクの東北6町議会を対象に、各自情報収集に努め次回委員会で協議する。

(3) 情報公開推進のため、インターネット活用の重要性を再認識し、充実めざし町当局と協議する。

(4) 住民参加促進のため、町内の各種団体に意見交換会のご案内を行う。

(5) 議会機能向上のため、政策立案活動の充実強化に努力する。

(6) 1月21日開催の議会全員協議会において、これまでの議会改革先進事例調査内容について報告を行う。

□平成28年2月 8日

それぞれの情報収集に基づき、東北6町議会の議会改革取り組み内容について協議した。

「議会改革度調査ランキング」は、総合順位のみならず、個別順位も注視する必要があることを確認した。

平成28年3月定例会に調査報告するとして当初方針を見直し、調査期間を延長することとした。

□平成28年2月22日

議会運営委員会での所掌事務調査を議会全体のものとして、議会改革に取り組む必要があることから、中間報告を行うことを決定した。

□平成28年3月 1日

中間報告は、3月定例会後に開催される臨時会で行うことに決定した。

4 調査の結果

(1) 地方議会で議会基本条例の制定が進む中、多くの議会改革先進事例が生み出されていることを再認識した。

(2) これまでの調査により、特に注目した先進事例は次のとおりである。

①北海道芽室町議会

- ・「芽室町議会活性化計画」において「議会活性化計画年間スケジュール」を策定し、議会基本条例の実践にあたっている。(別紙資料参照)
- ・通年議会制をとっている。

②岩手県紫波町議会

- ・通年議会制をとっている。
- ・予算決算常任委員会を設置している。
- ・広報広聴活動に積極的に取り組んでいる。
- ・広報広聴活動を基に政策立案活動に取り組んでいる。

③宮城県大河原町議会

- ・定例会開会前まで会期延長を行い、事実上の通年議会制をとっている。

(3) 桑折町議会における議会基本条例の実践のためには、これら全国の先進事例を収集し、生かしていくことを、当面する重要課題として位置づける必要がある。よって今後の調査の成果は、速やかに全員協議会で報告し、討議を行うものとする。